

Title	表紙・目次・編集後記
Author(s)	
Citation	公共空間 (2011), 2011 Spring
Issue Date	2011
URL	http://hdl.handle.net/2433/143747
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

公共空間

2011 Spring (Vol. 6)

特集 公共事業の今とこれから

— 巻頭インタビュー —

辻元清美元国土交通副大臣に聞く

— 公共事業評価と費用便益分析 —

京都大学フィールド科学教育センター特定准教授
佐藤 真行

— 現場レポート —

新しい時代 新しい公共事業
本誌編集委員

— 公共事業の現状と課題 —

本誌編集委員

～Essay・編集委員レポート～

留学を検討する前に

京都大学公共政策大学院教授
唐渡 晃弘

京大公共 授業セクション

本誌編集委員

～座談会～

地方自治を語る

～イベントレポート～

第6回政策系大学・大学院研究交流大会

～学生投稿～

「全体の利益」再考
—高橋和己『悲の器』を手掛かりとして—
京都大学公共政策大学院四期生
藤戸 敬貴



『公共空間』編集委員会

京都大学公共政策大学院

Kyoto University School of Government

★編集後記★

被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地を日常に戻すためにも公共事業の再評価が必要と感じた今日此頃です。本誌も幾許か社会に役立てば編集者冥利に尽きます。(後)

『公共空間』いう一つの灯火を、受け取る。これからは副編集長として編集長を補佐し、よりよい公共政策の形成へ資する雑誌作りへ精進し、次の世代へつなげたいと思う。(向)

気軽に始めて止められなくことがよくありますが、毎回、その経験が後々で生きてきました。「何事もやってみないと分からない」ことを忘れずにいようと思う、今日この頃です。(小)

修了してしまいました。あつという間の二年間が過ぎ去りました。これから何十年と付き合える人たちに出会えました。そして、『公共空間』に携われて、本当によかったです。(川井)

今年に入ってから公私共に色々な事が起こりましたが、助けること助けられることの重要性を痛感しました。これからは謙虚に生きていきたいと思います。(野)

前編集長、一年間おつかれさん。前編集長に敬意を込めて、「時は今、雨が下知る、五月哉」(寺)『公共空間』を去るにあたって和歌を一首。梅の香に ただ誘われて 来てみれば 山懷に深く入りけり。 ゆく河の ごとく中身は 変われども 絶えず流れよ 『公共空間』。(長)

昨今の国内情勢を見聞きするにつけ、今ある日常の有難さを痛感しています。ところで今季は、編集初参加・初東京・初国会議事堂で急性胃腸炎発症……。『迷惑をおかけしました……。』(川口)前編集長をギャフンといわせる記事を目標にしたが、ギャフンといわれ続けられて終わりそう。『ギャフンーギャフンー!』あつ、これは花粉症です。四期生お疲れ様でした。(田)

『公共空間』の記事の取材をさせて頂く度に、自分は他人の親切のお蔭で生きていられるのだと痛感する次第です。滋賀県庁の皆様、ありがとうございました。(三)

混迷する内外の情勢。『公共空間』の権力移譲が円滑に進むことを願う次第です。今年も一人の写真家として後藤・向井体制を支えていきますので、どうぞよろしく。(昶)

『公共空間』 二〇一一年 春号(通巻第六号)

発行人 『公共空間』編集委員会

編集長 後藤 茂文

副編集長 向井 泰弘

編集委員 小畑 勇二郎 川井 三希子

野口 裕明 寺井 裕介

長谷川 智史

(以上、修了生)

川口 史帆 田中 英徳

三谷 真吾 榎山 大輝

編集顧問 真渕 勝

編集協力 大石 眞

堀部 比都美

京都大学公共政策大学院『公共空間』編集委員会

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学 法学公共政策大学院掛

TEL 075-753-3126

MAIL koukyoukukan@yahoo.co.jp

HP [http://www.sg.kyoto-u.ac.jp/ja/](http://www.sg.kyoto-u.ac.jp/ja/environment/kokyokukan)

[environment/kokyokukan](http://www.sg.kyoto-u.ac.jp/ja/environment/kokyokukan)

雑誌『公共空間』学生投稿募集について

雑誌『公共空間』は学生投稿枠を設け、皆さんの原稿を募集します。

募 集 要 綱

1. 内容

公共政策に関するものであれば、テーマは自由です。授業で作成したレポートやプレゼンテーション資料を用いてもらっても構いません（ただし、文書形式でお願いします）。

2. 字数と書式

3500～4500 字程度。書式は自由。

3. 応募締め切り

各号毎に締め切りを設定します。

4. 応募条件

本公共政策大学院に在学する学生であること。

5. 応募宛先

件名に「『公共空間』学生投稿応募」と明記の上、
koukyoukukan@yahoo.co.jp まで、ご連絡下さい。
なお、その際におおまかなテーマについてもお伝え下さい。

6. その他

応募多数の場合などは、編集委員会で協議の上、執筆者、掲載原稿を決定させていただきます。

本誌掲載の写真・イラスト・記事の 無断転載・二次利用はお断りいたします。

